

・ 1点でも貪欲に

ここでも英語を取り上げてみます。英語の分野の中で2年生が3年生より勝っているものは何だと思いますか？答えは文法と英作文です。私は2年生の12月に3年生・浪人生むけの模試を受けてみたのですが、文法と英作文は受験者平均よりも上回っていました。特に文法はそれほど難しくはなかったのですが、正解率の低さに驚きました。その他の分野では3年生・浪人生が圧倒的でした。この模試で私が感じたことは、3年生・浪人生は基本の勉強がおろそかになりやすいということです。受験生になると長文問題を解くことが多くなります。速読、読解、記述、和訳…練習量が必要なものばかりで時間を取られてしまうので文法をやっている暇はほとんどないです。文法問題は1問の配点も小さく、配点が高い長文が重視されるのは仕方ないことです。学校や予備校でも文法は長文を解説している中にたまに顔を出す程度ではないでしょうか。2年生までに身につけていること前提で授業が進み、あとで確認しようと思っても時間がなくてそのまま放置、確認しても一部だけで解決したらそれでおしまいにしていませんか。単なるど忘れでいつもはできるはずと思っていませんか。たまたま扱った部分が一部だったのでそのように錯覚しているだけです。動詞を見て何文型をとるか、to 不定詞か～ing か、名詞は可算か不可算か、前置詞な何が来るか自信を持って答えられますか？関係詞の種類と用法が思い浮かびますか？意外と忘れていることって多いです。いくら長文で点数取っても文法でその分間違えたら意味ないですよ。時間がないとは思いますが文法をおろそかにしないでください。英作文については経験が必要でもありますので模試の結果は偶然だったのかもしれませんが、しいて言うなら経験を積みば積むほど難しい表現や単語を使いたくなりミスが多いことが影響している可能性があります。覚えたい表現や単語を使いたい気持ちは分かりますが1点でも多く点数を稼ぎたい入試ではより確実なものを書いた方がいいです。また、日本語が難しいと白紙になる人がいますが、もったいないです。何か書いて部分点を狙いに行ってください。和文和訳についても学校や予備校で聞いていると思います。但し、採点方式が減点法か加点法かで大きく変わることもあります。英語について詳しく書きましたが、基本を繰り返すことはどの科目でも必要です。記述のある場合は1点でも多くとれる答案を書くことが重要です。入試は他の人よりもどれだけ点を取れたかです。1点でも貪欲に取りにいて下さい。